

第9回トマト、キュウリサミット

全野研が埼玉県で開催

1月31日 根圏環境制御テーマに

全国野菜園芸技術研究会(略称「全野研」)は1月31日(月)1日に埼玉県の埼玉農業センターにおいて第9回トマト・キュウリサミットを開催する。生産・販売・経営の諸問題解決のために参考となる技術や事例を紹介し、安定的な経営の実現を図ることを目的として毎年開催しているが、今回はハウスの環境制御による効果を最大限に引き出すための地下部根圏環境制御のテーマで行われる。

1日目はさいたま市の「ニックス」にて講演や実演が行われる。11時～開場、機器資材見学、12時30分～開会セレモニー。12時50分～基調講演「これからの野菜園芸」(講師:園芸技術者 藤田 浩二)。13時～懇話会「根圏環境制御」(講師:園芸技術者 藤田 浩二)。14時35分～パネルディスカッション「施設栽培の根圏環境制御」(コーディネーター:中野明正氏、稲山光男氏、パネリスト:大宮区桜木町1-7-6 大宮区桜木町1-7-6 (ロックウール、ココバール)14階シダックス大宮店)。

2日目はさいたま市の「ニックス」にて講演や実演が行われる。11時～開場、機器資材見学、12時30分～開会セレモニー。12時50分～基調講演「これからの野菜園芸」(講師:園芸技術者 藤田 浩二)。13時～懇話会「根圏環境制御」(講師:園芸技術者 藤田 浩二)。14時35分～パネルディスカッション「施設栽培の根圏環境制御」(コーディネーター:中野明正氏、稲山光男氏、パネリスト:大宮区桜木町1-7-6 大宮区桜木町1-7-6 (ロックウール、ココバール)14階シダックス大宮店)。

埼玉研先端技術研修会

12月13日 農研センターで開く

埼玉県野菜園芸技術研究会(会長:川島孝夫氏)は12月13日、13時半から熊谷市須賀広784の埼玉農業センターにおいて、平成30年度施設園芸先端技術研修会を開催した。年末多忙にもかかわらず、若手会員の参加が自立ち、盛会であった。

同センターの松本龍衛副所長が挨拶のように挨拶。「本県の野菜は2千億円の売り、トマト・きゅうりは23%を占めて



13日に行われた埼玉研の先端技術研修会

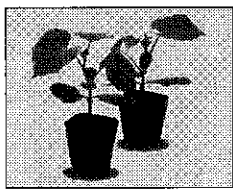


高設ハウスでトマトの研究状態を見学する一行

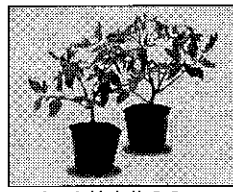
から管理をしていただく、2手に分かれて、トマトのきゅうりのハウスを「A班」「B班」の見学した。きゅうりは小

村田の苗は土づくりを基本とし環境にやさしい手作り苗です!!

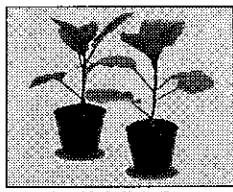
全国各地のJA(支所を含む)のほかに問屋等200件余りの取引先への苗出荷を通して、生産者の方々の栽培を支えています。村田の苗は全国的に高い評価をいただき、数々の賞を受賞しています。



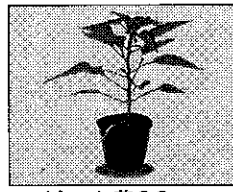
キュウリ接木苗 7.5cm 本葉2~2.5枚まで



トマト接木苗 9.0cm



ナス接木苗 7.5cm 本葉4.5~5.5枚



ピーマン苗 9.0cm 本葉8~10枚まで

育苗種類はキュウリ、トマト、ナス、メロン、スイカ、カボチャなど多種類に及びます。ここに示したのはほんの一例です。

ご注文はお近くのJA、種苗店等を通じてご用意いただいております。なお、お問い合わせは下記へ。

(株)村田農場

〒791-0214 愛媛県東温市南野田734-1
TEL 089(964)7878 FAX 089(964)0406
ネットからのご注文も承っています。 <http://muratafarm.co.jp>

4社にキュウリ、トマトの他産地と品種を聞く

一方、トマトの方は「ニックス」が9月10日、ロックウールを用いた高設ハウスで試験が定植である。

軒高ハウスの「CF桃太郎」栽培密度は10a2、2キイ種苗の「CF桃太郎」17株、栽培期間は30年、8月8日から31年7月上旬、試験区①はCO₂施用が

と養液土耕方式で栽培している。

「うちのハウスも台木は埼玉原種の「ゆうゆう」(黒タイプ)で、8月3日に播種、接ぎ木は8月10日、定植は8月29日、栽培密度10a10に収穫ができています。最終結果が待たれることである。

収穫は12月11日の様子だが、こちらも順調で、現在は作物(水稲、野菜、花植木、畜産、経営等の試験研究成果の普及や技術の現地実証及び普及指導員の育成等に係る研修活動を行っている。

再び研究室に戻り、同センターのきゅうり環境制御についての話があった。武藤完勝氏の「パイオ25」(パイオ25)と訂正

訂正

本紙の12月7日号(第1325号)5面に掲載した日本アグリ研究会長武藤完勝氏の「パイオ25」とタケニグサの菌液を使用した試験」の項で、上から4段目の右から4行目「アルコールで抽出して……」とある箇所は「パイオ25……」と訂正します。ご迷惑をおかけした武藤氏にお詫言います。